

水道局研究発表会・水道局業務改善推進大会
平成28年度 はまピョンカップ

 横浜市水道局

KAIZEN GO!



横浜市水道局キャラクター「はまピョン」

改善前



改善後



むきだしのパイプを
ボールで防護

相模原沈澱事務所の取組例

改善前



改善後



目立つテープで
事故防止

川井浄水場の取組例

日時：平成29年1月18日（水） 9時20分から16時30分まで（開場9時）

会場：横浜情報文化センター6階 情文ホール ※入場無料

最寄り駅：みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口 徒歩0分

第1部 水道研究の発表

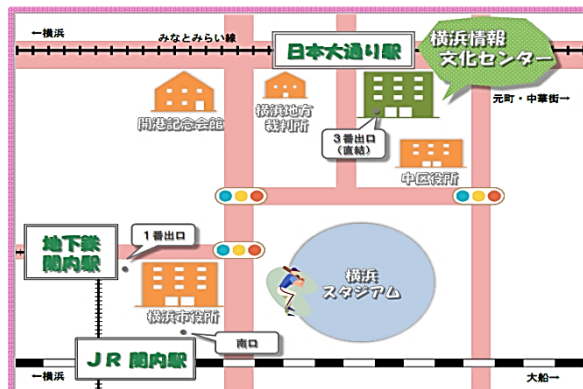
9時30分から12時10分まで

第2部 改善事例の発表・表彰

13時10分から16時30分まで

はまピョンカップは、「より良いサービス」「より効率的な仕事の実現」のために、日常業務を通して気づき、実践してきた取組や研究の成果を紹介する大会です。

市民の皆さま、事業者の皆さまもぜひお越しください。



企画・運営：はまピョンカップ運営委員会（事務局：横浜市水道局経営企画課）

お問合せ：TEL 045-633-0143 / FAX 045-663-6732

E-MAIL su-keieikikaku@city.yokohama.jp

平成28年度 はまピョンカップ スケジュール

9:00 ~ 9:20	開場～受付
9:20 ~ 9:25	開会・発表会の進行方法等の説明
9:25 ~ 9:30	開会挨拶 【天下谷経営部長】
第1部 水道研究の発表 9:30～12:10 8編	
9:30 ~ 9:45	① 横浜市水道局における健康経営の実践 ～職員ヘルスアッププロジェクト～ 【人事課】
9:45 ~ 10:00	② PFI事業による大規模ろ過浄水場運転開始後の一考察 一川井浄水場セラロックでの「公」の視点での気付きー 【川井浄水場】
10:00 ~ 10:15	③ 相模川のかび臭物質2-メチルイソボルネオール(2-MIB)挙動調査 【小雀浄水場】
10:15 ~ 10:30	④ 100年にわたる道志水源林の保全 【水源林管理所】
10:30 ~ 10:45	講 評 【遠藤浄水部長】
10:45 ~ 10:55	休 憩
10:55 ~ 11:10	⑤ 水道・ガスメーター無線自動検針システムの実証実験(中間報告) 【サービス推進課】
11:10 ~ 11:25	⑥ 瞬時の水圧変動に伴う給水への影響調査 【給水維持課】
11:25 ~ 11:40	⑦ 矢巾町と横浜市における広域連携 ～中小規模事業者と大規模事業者の連携モデル～ 【配水課】
11:40 ~ 11:55	⑧ 給水栓における「市内平均残留塩素濃度」の研究 【計画課】
11:55 ~ 12:10	講 評 【平本施設部長】
12:10 ~ 13:10	休 憩
第2部 改善事例の発表 13:10～16:30 10編	
13:10 ~ 13:15	業務改善推進大会 開会・挨拶
13:15 ~ 13:25	① 保育園児を持つ家庭を対象とした飲料水の備蓄率向上に向けた取組 【洋光台水道事務所、戸塚水道事務所】
13:25 ~ 13:35	② 「災害時給水所」認知度向上に向けて、スマホアプリ「ロケスマ」を公開 【サービス推進課】
13:35 ~ 13:45	③ 事務・技術の給水車操作訓練による災害時対応力の向上 【洋光台水道事務所】
13:45 ~ 13:55	④ 部横断！中村ウォータープラザ内4課合同での自衛消防訓練による職員交流と防災意識の向上 【中村水道事務所、給水維持課、南部方面工事課、南部方面配水管理課】
13:55 ~ 14:05	⑤ 水道局を身近に感じてもらう掲示物の設置 【菊名水道事務所、北部方面工事課、北部方面配水管理課】
14:05 ~ 14:20	講 評 【川崎給水サービス部長】
14:20 ~ 14:35	休 憩
14:35 ~ 14:45	⑥ 水の循環体験装置「みずじゅん」の作成 【北部方面配水管理課】
14:45 ~ 14:55	⑦ 道志の夏 丸かじり大作戦 【水源林管理所】
14:55 ~ 15:05	⑧ 施設見学に関する改善の取組 【小雀浄水場】
15:05 ~ 15:15	⑨ 川井小雀幹線の小雀流入量増量による自然流下系の有効活用 【南部方面配水管理課、浄水課】
15:15 ~ 15:25	⑩ リモートコントロールソフトによる離れた職場間の情報交換 【洋光台水道事務所】
15:25 ~ 15:40	講 評 【牛窪担当部長(給水サービス担当)】
15:40 ~ 15:50	休 憩・投 票
15:50 ~ 16:05	職員ヘルスアッププロジェクト報告
16:05 ~ 16:15	チーム横浜賞紹介
16:15 ~ 16:25	業務改善推進大会 はまピョンカップ賞(第1位) / 第2位 / 第3位 の表彰
16:25 ~ 16:30	全体講評 【山隈水道局長】
16:30	閉会

第1部 水道研究の発表 8編

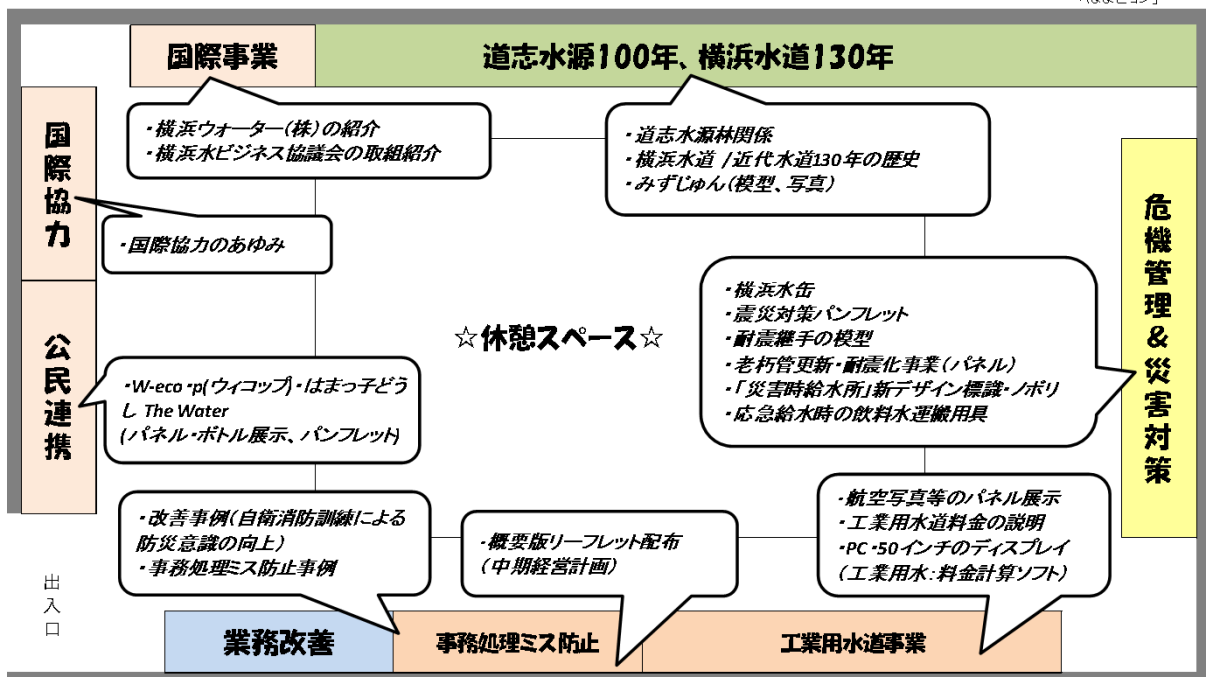
タイトル／発表者【所属名】	内容
① 横浜市水道局における健康経営の実践 ～職員ヘルスアッププロジェクト～ 青谷 奈美【人事課】	セミナーの開催、健康課題の分析、「水ZAP(運動を主体とした健康づくりプログラム)」を展開した結果、職員の健康度の向上を達成しました。また、職員の健康づくりを組織的・計画的に進めるための「水道局職員の健康づくり計画」を策定しました。
② PFI事業による大規模ろ過浄水場運転開始後の一考察—川井浄水場セラロッカでの「公」の視点での気付き— 足利 洋明【川井浄水場】	川井浄水場セラロッカは、民間企業による運転が開始され2年以上が経過しました。この間日本最大の膜ろ過浄水場を安定して運転していくための「公」の視点での気付きに焦点をあて報告を行うものです。
③ 相模川のかび臭物質2-メチルイソボルネオール(2-MIB)挙動調査 浅野 峰子【小雀浄水場】	小雀浄水場原水からは夏にかび臭物質2-MIBが検出されるため、粉末活性炭の注入により処理しています。原水中の2-MIB濃度と気温・水温・河川水位との関係を調べ、発生予測を行いました。また、相模川現地調査を行い、発生場所、発生原因を調査しました。
④ 100年にわたる道志水源林の保全 山口 雄一【水源林管理所】	今年度、横浜市が道志村の山林を購入して100年を迎えたこの機会に、これまでの水源林保全の取組を振り返り、管理方針の沿革や管理の方法、道志村への支援と交流のほか、道志水源林100年記念事業について紹介します。
⑤ 水道・ガスメーター無線自動検針システムの実証実験(中間報告) 柿沼 大【サービス推進課】	「水道・ガスメーター無線自動検針システムの実証実験」を民間企業と共同で実施しました。実証実験の検証では、無線自動検針の正確性と効果、また水道・ガス検針値データの複合的活用についての考察が得られました。
⑥ 瞬時の水圧変動に伴う給水への影響調査 武村 盛史【給水維持課】	配水管の水圧測定時に水圧が瞬時に落ち込むことがあり、算定する水圧が低くなることがあります。このことから、瞬時の水圧変動が一般家庭等に及ぼす影響について調査し、水圧の算定に用いる解析方法について検討しました。
⑦ 矢巾町と横浜市における広域連携～中小規模事業体と大規模事業体の連携モデル～ 尾中 政太【配水課】	平成27年度から実施している、岩手県矢巾町と横浜市水道局、横浜ウォーター株式会社との3者による遠方地との広域連携について、その内容と得られた効果について報告するものです。
⑧ 給水栓における「市内平均残留塩素濃度」の研究 小川 大介【計画課】	市内の残留塩素濃度は、これまでは配水管で確認していましたが、蛇口に至るまでの間にさらに塩素が消費されることが課題でした。そこで、室内調査とお客さま宅での実地調査を行い、蛇口での残留塩素濃度を推計しました。

★★★★★平成28年度 はまピョンカップ展示案内★★★★★

—6階ホワイエにて展示しております。ご自由にご覧ください。—



横浜市水道局キャラクター「はまピョン」



第2部 改善事例の発表 10編

タイトル／発表者【所属名】	内 容
<p>① 保育園児を持つ家庭を対象とした飲料水の備蓄率向上に向けた取組</p> <p>宮田 良二【戸塚水道事務所】</p>	<p>戸塚水道事務所及び洋光台水道事務所では、港南区内の保育園の協力を得て、保護者に“飲料水の備蓄及び災害時給水所の認知度の向上”のため、新たにチラシと啓発物を作成・制作し配布しました。また、アンケートを実施してチラシと啓発物の配布効果を測定しました。</p>
<p>② 「災害時給水所」認知度向上に向けて、スマホアプリ「ロケスマ」を公開</p> <p>松浦 桂三【サービス推進課】</p>	<p>横浜市水道局パートナーシップデスクを活用し、民間会社の運営する無料のスマートフォン地図情報アプリケーション「ロケスマ」にて、発災直後から利用可能な災害時給水所の地点情報（マップ情報）を公開しました。</p>  <p>↑こちらからも ご覧いただけます</p>
<p>③ 事務・技術の給水車操作訓練による災害時対応力の向上</p> <p>平澤 正一、筒井 涼太【洋光台水道事務所】</p>	<p>災害時、技術系職員が運搬給水に手を回せない事態でも給水できるよう、技術系職員から事務系職員に給水車の操作方法をマンツーマンで教える訓練を月2回輪番で実施しています。手厚い訓練で給水車操作をマスターした職員が2倍に！？</p>
<p>④ 部横断！中村ウォータープラザ内4課合同での自衛消防訓練による職員交流と防災意識の向上</p> <p>掛川 恵梨子、喜田 樹菜、上野 未来【南部方面工事課】 小山 洗絵【南部方面配水管理課】 小川 瑞貴【中村水道事務所】</p>	<p>中村ウォータープラザ内の職員交流の促進及び防災意識の向上を目指し、4課合同（南部方面工事課、南部方面配水管理課、中村水道事務所、給水維持課）で南区の自衛消防隊消防操法技術訓練会に参加しました。部署を越えた協力が行いやすくなるとともに、中村ウォータープラザ全体としての防災力が向上しました。</p>
<p>⑤ 水道局を身近に感じてもらう掲示物の設置</p> <p>長谷川 千夏、灘原 舞【北部方面工事課】</p>	<p>大通り沿いに設置されているにもかかわらず、注目を浴びることのなかった掲示板が若手の力（菊名水道事務所、北部方面工事課、北部方面配水管理課）でよみがえりました。水道事業の紹介とともに季節に合わせた装飾をし、水道局を身近に感じてもらえるよう毎月工夫を凝らしています。</p>
<p>⑥ 水の循環体験装置「みずじゅん」の作成</p> <p>歌田 遥、安部 敬和、片江 圭太、松澤 祐起【北部方面配水管理課】</p>	<p>蛇口から出る水道水がどのようにお客さまの家庭に届いているのか、という疑問に答えられますか？ 私たち北部方面配水管理課の1年目職員が水の循環体験装置「みずじゅん」を使って、わかりやすくお伝えします！</p>
<p>⑦ 道志の夏 丸かじり大作戦</p> <p>平賀 恵春、山口 雄一【水源林管理所】</p>	<p>道志水源林100年記念事業のひとつとして、都会の子供たちに道志村の魅力や楽しさを伝えたく、昆虫採集や魚のつかみ取りなど、様々な工夫を凝らした「夏休み親子水源バスツアー」を企画しました。参加した子供たちの笑顔と歓声にあふれ、大好評でした。</p>
<p>⑧ 施設見学に関する改善の取組</p> <p>佐々木 真、佐藤 尚樹【小雀浄水場】</p>	<p>小雀浄水場には、年間約3,000人から4,000人の方が施設見学に訪れます。水をつくる工場である小雀浄水場のことを知ってもらい、安心して安全な横浜の水をPRしています。施設見学者の満足度向上を目指した、これまでの改善事例です。</p>
<p>⑨ 川井小雀幹線の小雀流入量増量による自然流下系の有効活用</p> <p>中村 溪太郎【浄水課】 三橋 崇夫【南部方面配水管理課】</p>	<p>川井浄水場から小雀浄水場へ送水する川井小雀幹線において、小雀流入量の増量可否について実証実験による確認を行いました。実証の結果、小雀への送水の増量が可能となったことにより、自然流下系の有効活用による小雀浄水処理コストの削減や緊急時対応能力の向上につながりました。</p>
<p>⑩ リモートコントロールソフトによる離れた職場間の情報交換</p> <p>黒子 裕史【洋光台水道事務所】</p>	<p>離れた場所のユーザのパソコンを遠隔操作するリモートコントロールソフトの機能を、離れた職場間で職員どうしの情報交換に活用します。一方のパソコン画面を両方で閲覧・操作したり、画面上にフリーハンドでメモを書き込み、職場に居ながら情報交換します！</p>

★★はまピョンカップ賞の投票方法について★★

会場投票の時間に、“改善事例の発表10編”の中から「はまピョンカップ賞」にふさわしいと思う候補を、“2つ”選んで投票箱に投票してください。

